

2023 年度 事業計画書

コロナ禍での生活も3年目を迎えた2022年度は、感染者数は変わらず多いものの行動制限もなくなり少しずつ社会全体が動き始めた。そういう中、文化・芸術分野でも展示会や発表会等アーティストが活躍できる土壌が戻りつつあると感じられる。

当協会では、設立40周年事業である「Osaka Directory 展」を大阪中之島美術館と共催し、若手アーティストの作品を非常に多くの方々にご覧いただいた。2023年度も未来を担う人材の発掘・育成とともに、悠久の歴史・文化に根ざした関西・大阪の魅力やポテンシャルを発信するべく、事業活動に邁進していく。

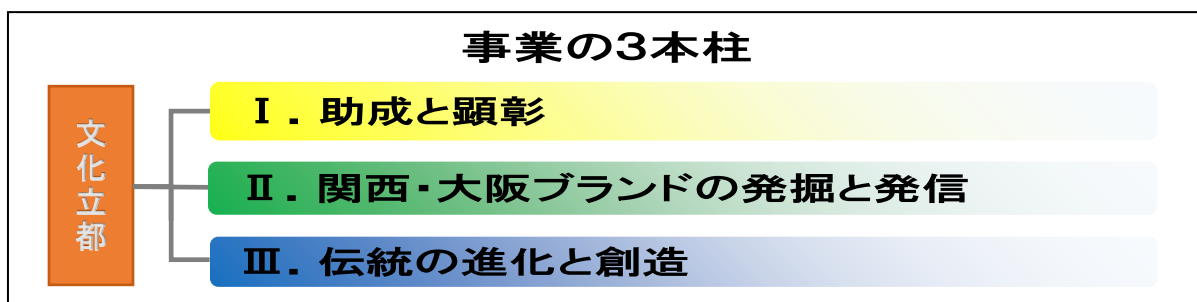
万博記念基金事業では、70年万博の理念に基づく活動を支援する助成金交付事業及び日本文化を研究する留学生を対象とした日本文化研究支援事業を継続して実施することで「人類の進歩と調和」へ貢献し続ける。

アーツサポート関西では、アーティスト支援を重要課題と位置付け、昨年度より始めた寄附型クラウドファンディング助成を引き続き実施すると共に、様々な寄附集めの手法を取り入れ、事業の安定財源の確保を目指す。

文化事業では、昨年度に引き続き「Osaka Directory」を大阪中之島美術館とのコラボレーションにより開催し、若手アーティストの育成・支援に取り組みつつ、関西・大阪におけるアートシーンの活性化に貢献する。また、アーティスト支援の一つとして今年度で3年目を迎えた「アーティスト交流体験～文化芸術による次世代育成プログラム～」では、関西・大阪で活動するアーティストの紹介や、次世代の子供たちが文化・芸術に触れ合える機会を設け、これまで以上に実施プログラムの充実を図り、より一層人材育成に貢献する。

更に多様な優れたアーティストの作品発表の場や機会の提供として、文化・芸術活動に積極的な団体・法人等にアーティストを紹介する「インクルーシブアートプロジェクト」を今年度から実施することで、アーティスト支援の強化を図る。

その他、上方文化芸能においては、「御田植神事」や「宝恵駕行列」等の上方伝統行事への支援を引き続き行う。



I. 助成と顕彰

1. 「日本万国博覧会記念基金」事業（公益目的事業2）

「日本万国博覧会記念基金」の運用益の一部をもって、日本万国博覧会の成功を記念するに相応しく、「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適った国内外で実施される「国際相互理解の促進に資する活動」に対して助成金を交付するとともに、日本文化を学ぶ外国人留学生を対象に日本文化研究支援事業を行い、「次世代人材育成」を通して日本文化の理解を促し、その根底に流れる調和的発展の精神を世界に拡げて、人類の「調和ある発展」に貢献する。

あわせて、大阪府の日本万国博覧会記念公園の管理運営のために寄附をする。

ア. 助成事業

A. 助成金交付対象分野

1970年万博の理念を継承し、「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適った以下の活動を助成金交付対象とする。

- 国際相互理解の促進に資する活動
 - …国際交流に寄与する活動
 - …国際協力に寄与する活動
 - …教育に関する国際的な活動
 - …学術に関する国際的な活動

B. 2023年度助成事業

(1) 2023年度助成金交付事業

① 助成対象等

○ 複数年助成

- ・事業期間：2～3年度で成果を挙げられる事業を対象とする。
- ・助成総額：2,000万円を上限として、年に数件程度を採択予定。
(※相応しい活動がない場合は「該当なし」とする)
- ・助成金は年度毎に交付し、単年度での上限金額は1,000万円とする。
- ・「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適い、大きな助成の効果が期待できる活動を対象とする。
- ・各年度の実施状況と次年度の計画の報告を受け次年度の継続助成の可否について審査し決定する。

○ 単年度助成

- ・助成金300万円を上限として数十件程度を採択する。

② 交付決定

- ・2022年度中に交付決定を行った助成金交付対象事業（31件7,420万円）に対し、各事業の完了後に報告書の提出を受け、助成金を交付する。

2023年度助成金交付決定

(単位 上段：件、下段：万円)

| 助 成 | 複数年 | 単年度 | 合 計 |
|--------------------|--------------|---------------|---------------|
| 国際文化交流、国際親善に寄与する活動 | (2) 1,000 | (17) 4,070 | (19) 5,070 |
| 教育、学術に関する国際的な活動 | (0) 0 | (12) 2,350 | (12) 2,350 |
| 合 計 | (2) 1,000 | (29) 6,420 | (31) 7,420 |

- ③ 実地調査及び事後評価
 - ・国内で行われる助成金交付対象事業の実地調査を行う。
 - ・助成対象事業者からの報告書と実地調査の結果を踏まえて事後評価を行う。
- (2) 2023 年度日本文化研究支援事業（外国人留学生対象奨学金給付事業）
 - ① 奨学金給付対象等
 - ・対象者 日本文化を研究する対象大学の大学院修士課程に在籍する海外からの私費留学生を対象
 - ・対象人数 8 名程度（予定 4 大学、各大学 1～3 名）
 - ・給付額 月額 10 万円、年額 120 万円（1 名あたり）
 - ・報告会 年 2 回程度実施
 - ② 募集・審査等
 - ・募集期間 2023 年 4～5 月
 - ・審査 2023 年 6 月上旬
 - ・交付決定 2023 年 6 月下旬（理事会で決定）
 - ③ 継続給付
 - ・対象者 2022 年度に奨学金給付を決定した奨学生
 - ・対象人数 1 大学 1 名
 - ・給付額 月額 10 万円、年額 120 万円
 - ・報告会 年 2 回程度実施

C. 2022 年度助成金交付事業の繰越等

2022 年度に交付決定を行った助成金交付事業のうち、年度内に事業を実施し助成金の交付が翌年度になるもの及びやむを得ず事業実施が翌年度になるものについて、2023 年度への助成金交付時期の繰越（予定 20 件 3,324 万円）等を行う。

D. 2024 年度助成事業の募集

(1) 2024 年度助成金交付事業

① 助成金交付対象分野

1970 年万博の理念を継承し、「日本万国博開催の意図」の趣旨に適った以下の活動を助成金交付対象とする。

○ 国際相互理解の促進に資する活動

- …国際交流に寄与する活動
- …国際協力に寄与する活動
- …教育に関する国際的な活動
- …学術に関する国際的な活動

・募集事業 複数年度助成事業及び単年度助成事業

i) 複数年度助成事業

- ・「日本万国博開催の意図」の趣旨に適い、今後、大きな助成の効果が期待できる活動を対象とする。
- ・事業期間 2～3 年度で成果を挙げられる事業を対象とする。
- ・最長 3 年度、助成総額 2,000 万円を上限として年に数件程度を採択予定。

（※相応しい活動がない場合は「該当なし」とする）

- ・助成金は年度毎に交付し、単年度での上限金額は 1,000 万円

とする。

- ・各年度の実施状況と次年度の計画の報告を受け次年度の継続助成の可否について審査し決定する。

ii) 単年度助成

- ・助成金 300 万円以内の範囲で上限額を設定し年に数十件程度を採択する。

② 募集方法等

- ・募集方法 ホームページへの掲載や関係先への募集要項送付
- ・募集説明会 大阪及び東京ほか地方都市 1 カ所 (予定)
- ・募集時期 2023 年 7～9 月
- ・助成総額 1 億 1,500 万円 (国内外事業助成予定総額)
- ・助成対象事業の選考 審査会の開催 2024 年 1～2 月
- ・助成金の交付決定 決定時期 2024 年 3 月

〔日本万国博覧会記念基金助成事業審査会への諮問、同審査会の答申を受けて理事会で決定する。〕

(2) 2024 年度日本文化研究支援事業 (外国人留学生対象奨学金給付事業)

① 奨学金給付対象分野

1970 年万博の理念を継承し、国際社会に貢献する「次世代人材育成」を通して、世界に日本文化の理解を促す「国際相互理解の促進に資する活動」を対象とする。

② 募集対象等

- ・募集対象 日本文化を研究する対象大学の大学院修士課程に在籍する海外からの私費留学生
- ・対象大学 日本国内の奨学金の給付対象となる大学 (予定 4 大学)
- ・対象人数 8 名程度 (各大学 1～3 名)
- ・給付額 月額 10 万円、年額 120 万円 (1 名あたり)
- ・給付期間 修士課程修学期間 (最長で 2024 年 4 月～2026 年 3 月)
- ・募集方法 対象大学による公募やホームページへの掲載
- ・募集時期 2024 年 3 月下旬～5 月
- ・奨学金総額 1,000 万円程度 (継続給付含む)
- ・奨学金対象の選考 対象大学内選考及び審査会の開催 2024 年 5～6 月
- ・奨学金の交付決定 決定時期 2024 年 6 月 (理事会で決定)
- ・報告会 年 2 回程度実施

E. 助成事業の「見える化」への取り組み

助成金及び日本文化研究支援金贈呈式

- ・国内 (一部国外も含む) の助成事業者及び研究支援対象者を一堂に集め、贈呈式を開催する。併せて助成事業の事例発表等を開催する。
- ・経済界やマスコミ、行政、関西の総領事、学識経験者 (審査員)、理事、評議員など関係者に広く参加を呼び掛け、事業の「見える化」を促す。

…開催日程 2023 年 7 月頃

…開催場所 大阪

…参加者数 事業者、関係者合わせて 100 名程度

イ. 大阪府の日本万国博覧会記念公園の管理運営に寄附する事業

大阪府が設置する日本万国博覧会記念公園の運営管理に寄附する。

【寄附金額】 1億2,800万円程度（万博記念基金の運用益の二分の一）

2. 「アーツサポート関西」(ASK) 事業 (公益目的事業3)

芸術・文化は、人々の感性や創造性を涵養し社会をより豊かにするものである。関西の優れた伝統芸能の継承や新たな芸術的価値の創出を図るため、民間から広く支援を募り、助成金交付等の事業によって関西の芸術・文化活動を行う個人・団体を支援する。

また、社会に対し芸術・文化を支援する意義を広く周知し、支援の輪を広げていく機運醸成を図る。

ア. 寄附を集める活動

ASKの活動は、民間からの寄附金を財源としており、この活動財源である寄附受入の持続可能な仕組みとして、サポーターズクラブをはじめ、購入代金の一部が寄附される「寄附型自販機」や買い取り代金が寄附される「モノ de 寄附」など多様な取り組みを行ってきている。

今後も引き続き、ASKの運営基盤を強化するため、従来から取り組んできた持続性のある寄附受入の手法を中心に、次の取り組みを行う。

- A. 「ASKサポーターズクラブ」による収入の維持・拡大
- B. 「ASK寄附型自販機」による収入の維持・拡大
- C. 「モノ de 寄附」による収入の維持・拡大
- D. 「カード寄附」による収入の維持・拡大
- E. 「クラウドファンディング助成」における寄附集めの推進
- F. ウィズ・コロナ時代における芸術活動支援のための寄附集めキャンペーン「HEART AND ART」の取り組みの推進
- G. WEBやQRコードを活用したオンラインによる寄附集めの推進
- H. その他、持続性のある新たな寄附の方法の検討・実施

イ. 助成事業

A. 2023年度 助成金交付事業の実施

(1) 一般公募助成

寄附型自販機寄附など、支援分野の指定がない寄附を原資として公募で助成するもの。2023年度に行われる活動を対象に、2022年度に募集・審査して交付を決定。助成金交付後に活動を視察し、活動内容の確認・評価を行う。

2023年度一般公募助成金交付決定

(単位：件、万円)

| | 件数 | 金額 |
|---------|----|-----|
| 美術・デザイン | 3 | 90 |
| 音楽 | 3 | 90 |
| 舞台芸術 | 3 | 90 |
| 伝統芸能 | 1 | 30 |
| 合計 | 10 | 300 |

(2) 個別寄金助成の助成金交付及び追加公募等

寄附者が支援対象を指定したファンドを設け、ファンドごとに公募で助成するもの。2023年度に行われる活動を対象に、2022年度に募集・審査して交付を決定。助成金交付後に活動を視察し、活動内容の確認・評価を行う。

①交付決定済の事業

1) 前年度からの継続事業

| 助成名 | 助成総額 | 助成分野 | 対象者 |
|---------------------------------|------|------|------------------------------|
| 「寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金」助成 (9年目) | 50万円 | 伝統芸能 | 公益財団法人 上方落語協会 ※助成先は10年間継続 |

2) 公募済みの事業

| 助成名 | 助成総額 | 助成分野 | 対象者 |
|------------------------------|-------|-------------------------|-----------------------|
| 「八千代電設工業伝統芸能支援寄金」助成 (7年目) | 50万円 | 能楽における青少年を対象にした教育普及活動 | 関西広域において左記の活動を行う団体 |
| 「上町台地現代アート創造支援寄金」助成 (5年目) | 30万円 | 上町台地における寺社とアートとの融合を図る活動 | 関西広域において左記の活動を行う個人・団体 |
| 「コクヨ文楽支援寄金」助成 (2年目) | 250万円 | 関西における文楽の普及発展に貢献する活動 | 関西（大阪）において左記活動を行う団体 |
| 「未来アート寄金」助成 (2年目) | 90万円 | 現代美術およびコンテンツポラリーダーズ | 関西広域において左記の活動を行う個人 |

②追加公募及び交付決定並びに助成金の交付

2023年3月に寄附を受入れた「トヨタモビリティ新大阪 ASK 支援寄金」の公募及び理事会による助成金交付の決定並びに助成金の交付を行う。

- ・公募期間 2023年6月20日～7月19日（予定）
- ・助成対象分野 若手クラシック演奏家育成支援
- ・助成対象年度 2023年度
- ・助成総額 450万円
- ・審査選考 公募期間終了後
- ・運営委員会 2023年8月下旬
- ・助成金交付決定 2023年9月上旬頃（理事会にて決定）

(3) クラウドファンディング助成

公募で選ばれた助成対象事業をクラウド上に公表し、当該事業を支援するための寄附集めを行い、集まった寄附を助成金として交付する。

①公募済みの助成事業 ※2022年度の公募で採択

(単位：件、万円)

| | 件数 | 助成希望金額 |
|---------|----|--------|
| 美術・デザイン | 0 | 0 |
| 音楽 | 1 | 250 |
| 舞台芸術 | 2 | 300 |
| 伝統芸能 | 0 | 0 |
| 合計 | 3 | 550 |

②追加公募による事業

アーティストや芸術団体の活動状況を踏まえ、より一層助成による支援を行う必要があるときは、新たにクラウドファンディングによる助成先の公募・選考及び寄附集め並びに助成金の交付を行う。

| 助成総額 | 助成分野 | 対象者 | 募集期間 | 募集方法 |
|-----------------|----------------------|--------------|---------------------------------------|-----------------------------|
| 集まった寄附を助成金として交付 | 美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能 | 関西を拠点に活動する団体 | 2023年6月～7月 ※助成金交付は2023年10月～2024年3月 | 協会ホームページへの掲載、関係先へのメールによる案内等 |

B. 2024年度助成事業の募集

(1) 一般公募助成

| 助成総額 | 助成分野 | 対象者 | 募集期間 | 募集方法 |
|-------------|----------------------|-----------------------------|------------------|-----------------------------|
| 300万円～500万円 | 美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能 | 関西を拠点に活動する個人・団体 (個人優先採択) | 2023年12月～2024年1月 | 協会ホームページへの掲載、関係先へのメールによる案内等 |

※寄附の受入状況によって助成総額を設定する

(2) 個別寄金助成

| 助成名 | 助成総額 | 助成分野 | 募集期間 | 募集方法 |
|--------------------------|------|------------------------------|------------------|-------------|
| 「八千代電設工業伝統芸能支援寄金」助成(8年目) | 50万円 | 関西で行われる音楽における青少年を対象にした教育普及活動 | 2023年12月～2024年1月 | WEBへの掲載等による |
| 「未来アート寄金」助成(3年目) | 90万円 | 現代美術およびコンテンポラリーダンス | | |

(3) クラウドファンディングによる助成事業の募集

| 助成総額 | 助成分野 | 対象者 | 募集期間 | 募集方法 |
|-----------------|----------------------|--------------|--|-----------------------------|
| 集まった寄附を助成金として交付 | 美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能 | 関西を拠点に活動する団体 | 2023年12月～2024年1月 ※助成金交付は2024年4月～2025年3月 | 協会ホームページへの掲載、関係先へのメールによる案内等 |

C. 評価・審査委員会、運営委員会の開催

文化、芸術の専門家や外部有識者によって構成される評価・審査委員会において選考を行い、運営委員会で確認、理事会で決定する。

- ・評価・審査委員会 2024年1月～2月(1次～2次)
- ・運営委員会 2024年2月～3月上旬
- ・助成金交付決定 2024年3月(理事会:3月)

D. 2023年度中の分野指定型寄附金の受入れ及び助成対象者の公募等の実施

2023年度中に分野指定型寄附(クラウドファンディングへの寄附を含む)の申込があるときは、当該寄附金の受入れに係る理事会の承認又は報告の手続きにより受入れを行う。

なお、寄附金の受入れ後寄附者の意向により2023年度中に助成対象者の公募及び審査・選考を実施する必要があるときは、当該求めに応じ公募等を実施する。

- ・寄附受入期間 通年
- ・公募期間 1か月程度
- ・審査選考 公募期間終了後、1か月～2か月の間
- ・対象者決定 審査選考後理事会にて決定

※公募期間、審査選考及び対象者決定時期は、原則として一般公募助成の取扱いに準じる。

ウ. 芸術・文化への支援に関する社会的機運の醸成を図る取り組み

芸術、文化の活動を支援（寄附）することの意義について、これまでのASK支援者（寄附者）をはじめ、広く一般市民や企業にASKへの関心を持っていただき、積極的に支援（寄附）するという文化の社会的機運を醸成する取り組みとして、成果報告会の実施、企業等が行う芸術文化振興活動への協力、メディアと連携した情報発信などを行う。

3. 人材育成（アーティスト支援）

ア. 大阪文化祭賞（公益目的事業1）

大阪の文化芸術活動の奨励及び普及を図り、文化振興の機運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに大阪府内で行われる公演を対象に、優れた成果をあげた個人または団体に賞（表彰状・表彰楯・副賞）を贈呈する。

- ・主 催 大阪府、大阪市、（公財）関西・大阪21世紀協会
- ・贈呈式 2024年3月（予定）

イ. アーティスト交流体験～文化芸術による次世代育成～プログラム（公益目的事業1）

新進の現代アートの人材を育成し、文化芸術のすそ野を広げることにより、関西・大阪の文化芸術の活性化に貢献することを目的に、関西・大阪のアーティストの活動紹介と子どもたちを対象とした文化芸術体験の場を提供するプログラムを実施する。

- ・主 催 （公財）関西・大阪21世紀協会
- ・実施校数 5校程度
- ・実施校募集 公募
- ・実施時期 2023年6～12月頃（1校につき3回程度実施）

※本事業実施に際して年度毎に評価を行うため外部から評価委員を招聘。

※他団体の助成制度や公募による受託業務の活用により、実施エリア・実施校数の拡大を目指す。

ウ. 文化活動機会の架け橋事業の実施（公益目的事業1）

当協会が結節点機能の役割を果たし、関西・大阪で活動する優れたアーティストを文化芸術活動の誘致（実施）を希望する団体等に紹介し、文化活動の活性化を図る取り組みを実施する。

- ・実施時期 3月（予定）
- ・場 所 大阪市内銀行 ほか

エ. 「もっと身近にインクルーシブアート」プロジェクト（公益目的事業1）

障害の有無などを区別することなく、多様なアーティストの優れたアート作品（インクルーシブアート作品）を身近に鑑賞する機会を広く提供し紹介することにより、人間の多様性の尊重と、生み出されるアート作品に対する理解の促進を図るとともに、才能あるアーティストの支援と関西・大阪における文化振興を図る取り組みを進めていく。

- ・主 催 （公財）関西・大阪21世紀協会
- ・実施時期 12月頃～（予定）

オ. アーティスト等との交流会（その他事業1）

当協会が実施する芸術・文化における人材育成を目的とした事業において活動したアーティストと企業・団体関係者を対象とし、文化・芸術への理解促進とアーティストの新たな活動の場の機会となる交流会を開催する。

- ・実施時期 10月頃（予定）
- ・場 所 大阪市内

II. 関西・大阪ブランドの発掘と発信

1. セミナーの開催

ア. 第4回関西北前船研究交流セミナー（公益目的事業1）

関西の食文化の発展に大きな影響を及ぼした北前船の寄港地からなる関西地区11市町が連携しセミナーを開催。北前船の船主や商いを営む人々の関わりなど、当時の歴史に触れ、関西の食文化をはじめとする関西ブランドの情報発信を行う。

- ・実施時期 2023年11月10日
- ・場 所 泉佐野オチアリーナ及び市街
- ・主 催 関西北前船研究交流セミナー実行委員会

（大阪市、神戸市、宮津市、小浜市、洲本市、赤穂市、高砂市、新温泉町、姫路市、たつの市、泉佐野市、（公財）関西・大阪21世紀協会（事務局）、他企業）

2. 関西ブランドの発信

ア. 2025年万博開催の機運醸成と関西ブランドの情報発信（公益目的事業1）

国立民族学博物館において、1970年と2025年の万博、そして両万博とその後の未来をテーマに、2025年まで毎年シンポジウムが開催される。

万博の大阪開催は、関西・大阪の歴史や文化など、地域社会に大きな影響を与えてきた。

70年万博のレガシーを引き継ぐ当協会は、シンポジウムへの協力体制を構築し、2025年の万博開催年までの間、同博覧会開催の機運醸成と万博を通じた関西・大阪の歴史や文化など関西ブランドの情報発信を行っていく。

【2023年度実施予定】

- ・実施時期 2023年11月頃
- ・場 所 国立民族学博物館
- ・主 催 （公財）千里文化財団
- ・協 力 （公財）関西・大阪21世紀協会

イ. 「KANSAI*OSAKA 文化力」の発行（公益目的事業1）

関西・大阪のブランド力の向上を目的として、当協会の取り組みや芸術・学術・技術の三術をはじめ、生活文化、祭事、スポーツなど、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を発信する広報誌を発行する。

賛助会員をはじめ、公立図書館や大学、高校、公的機関、マスコミ等へ広く配布する（約1万部）。

- ・発行回数 年2回（2023年9月・2024年3月予定）

ウ. ホームページ、SNSによる発信（公益目的事業1）

大阪のさまざまな伝統行事や当協会が主催・後援等をする文化芸術活動の最新ニュースをタイムリーに発信する。

- ・実施期間 通年

エ. 動画の制作と発信（公益目的事業1）

関西の食文化・歴史等に焦点を当てた動画を制作し、その魅力を発信する。

・実施期間 通年

オ. 書籍「なにわ大坂をつくった100人」の発行（その他事業1）

古代から近世にかけて「なにわ大坂」で活躍した100人を選び、当協会HP上で紹介していたものを、2017年度から2019年度にかけて出版社との協力により書籍化して発行しており、関西・大阪の文化力向上、イメージ向上に資するため引き続き事業を継続する。

・実施期間 通年

カ. 御堂筋でのバナー展開（収益事業）

当協会が保有する御堂筋や長堀通りの街路灯のバナー取付具を活用し、都市のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、景観の向上を図る。

・実施期間 通年

3. ネットワークと理解促進

ア. 後援・協力（その他事業1）

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状の授与等）を行い、ホームページで広く活動を紹介する。

・実施期間 通年

イ. 広報活動（公益目的事業1）

当協会の活動を広く理解してもらうために、マスコミ関係者とのリレーションを強化し、関西プレスクラブへの参画等の取り組みを行う。

・実施期間 通年

III. 伝統の進化と創造

1. コラボレーションによるまちづくり

ア. 大阪万博に向けた歴史・文化の紹介 [日本博事業フォローアップ]（公益目的事業1）

2020年度に制作した「古代首都なにわ八十島祭」のコンテンツの有効活用のため、当協会関連催事やWEBサイト等において関西・大阪の歴史・文化の紹介を行うことを主眼に、「2025年大阪・関西万博」に向けた幅広い視点での取り組みを推進する。

・実施期間 通年

・関連催事 常設博物館でのイベントなど（共催、協力として参画）

イ. 広域連携支援（公益目的事業1）

(1) 「北前船寄港地フォーラム」の支援

「(一社)北前船交流拡大機構」が連携による地方創生への貢献を目的に実施する「北前船寄港地フォーラム」を、関西の視点から支援する。

また、北前船寄港地で日本遺産に認定されている市町のうち、関西エリアの市町の連携による同遺産の啓発、活用事業への協力を行う。

・支援期間 通年

・開催時期 フォーラム : 2023年9月 岡山県岡山市
2024年3月 北海道釧路市（予定）

(2) 「2025年大阪・関西万博」の機運助成と開催に向けた結節点機能の推進

2025年に開催される大阪・関西万博において「関西・大阪の文化」を世界に発信することを目的に、2025年万博の機運醸成を図るほか、当協会が結節点機能の役割を担いパビリオン出展団体と他団体との連携協力体制の構築に向けた取り組みを実施する。

①「北前船」大阪・関西万博気運醸成イベント

関西の食文化の発展に大きな影響を与えた北前船をキーワードに、食文化をはじめとする関西文化の体験イベント等を通し、関西文化の情報発信を行う。更に北前船寄港地自治体や国内在外公館の協力により、情報発信の広域展開と2025年万博の機運助成を図る。

・実施時期 2023年10月4日～5日

・主催 (公財) 関西・大阪21世紀協会、(一社) 北前船拡大機構ほか

②パビリオン内展示等の出展勧奨の推進

2025年万博のパビリオン出展団体に対し、会期中の展示やイベントの企画協力を行うと共に、当協会が結節点機能の役割を担い、同企画への参画する団体の出展勧奨を推進する。

・実施期間 通年

ウ. 大阪中之島美術館共同プロジェクト「Osaka Directory」(公益目的事業1)

大阪を中心とする関西で活躍する若手アーティストに作品発表の機会を提供。

全国そして全世界に羽ばたくきっかけを作ることを目的に、将来活躍が期待される若手作家を紹介する小企画展を実施する。

・共催 (公財) 関西・大阪21世紀協会、大阪中之島美術館

・時期 2023年11月下旬～

・内容 1企画/アーティスト1名/約1か月 (2～3名程度)

2. 上方文化芸能の振興と無形文化財の保護・育成

上方文化芸能振興事業及び上方伝統行事に協賛し、当協会の他事業との相乗効果や総合力を発揮できるような展開を図る。

ア. 上方文化芸能振興事業

上方文化芸能振興事業として、協賛事業等の記録映像を集積し、当協会ホームページで発信する。また、協会広報誌「KANSAI*OSAKA 文化力」にも定期的に掲載し、上方の伝統行事を発信していく。

イ. 無形文化財の保護・育成

A. 今宮戎神社 宝恵駕行事[無形民俗文化財] (2024年1月10日) 協賛

B. 住吉大社 御田植神事[重要無形民俗文化財] (2023年6月14日) 協賛